

千年の森便り No.260

2025.9.30

ちば千年の森をつくる会

<http://sfuku.cloudfree.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

9月21日（日）天候 晴れ

毎日暑い日が続いていましたが、秋のお彼岸に入った21日は気持ち暑さも収まり、森を吹き抜ける風が心地よい1日でした。9月に入って雨も降ったので、そろそろきのこが出ているんじゃないかと、きのこを探しながら活動を行いました。

活動内容は、ニホンジカ生息状況調査、来月のきのこ観察会に備えて、駐車場、進入路の草刈りと危険木の伐採、植物観察、センサーカメラのデータ回収などです。参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、片野、坂本、成沢、福島会の会員8名でした。今回も坂本さんからサツマイモの差し入れをいただきました。ごちそうさまでした！（福島）



活動中に見つけたきのこを持って集合写真

〇ニホンジカ生息状況調査

この調査は、3か月に1回、年4回のペースで実施しています。今回の調査は、雨の中で行った6月に続き今年度2回目の調査となります。調査方法は、島に渡った吊り橋のところをスタート地点とし、7つのコースを分担して島内を一斉に踏査してニホンジカやキョンなどの目撃、声、足音、痕跡などを記録するというものです。調査時間は10:15から10:50、1コースは急傾斜地が多いため成沢、福島が分担して踏査しました。

調査結果は、ニホンジカ、キョン、イノシシなどの目撃はなし。足音や痕跡の記録もありませんでした。このところ、センサーカメラではキョンの記録が毎日のようにあるのに対し、ニホンジカはほとんど記録されていません。島内の林床植生についても、ニホンジカによる食害が少なくなっているように感じます。キョンによってニホンジカは島から追い出されてしまったのでしょうか？（福島）



調査野帳

〇島外の草刈り

豊英島に通じる林道、農道に夏草が生い茂り、車での通行に支障がありそうになっていました。来月には公開行事の秋のきのこ観察会があるので、今のうちに草刈りしなくてはなりません。シカ調査の後、私は電気柵の囲いの中で農道の両脇と駐車スペースの空地の草刈りを受け持ちました。前回の草刈りからそれほど日数が経っていないのですが、車体の底を擦るまで伸びている所もありました。足場の良い平坦地なので刈り払い機を使えばそれほどの苦労もありません。午前と午後の2回、それぞれ1時間以内の作業で終わりました。

電気柵の外周では刈り払い機の回転刃が支柱などの金属部分に当たるので、この場所は鎌で手刈りしかありません。4名が取り掛かりましたが、中腰の作業を強いられるので疲れたと思います。ハチや毒蛇に遭わず無事に作業を終えられましたので、安心して来月の行事のお客様を迎えられます。（坂本）



駐車場の草刈りをする坂本さん



進入路のネット際は鎌で手刈りしました

○枯死木の伐採

今回は片野さんと2人で、ナラ枯れによる枯死木を6本伐採しました。作業者が少ないため、なるべく「かかり木」にならなそうなものや、幹が太くないものを選び、無理なく伐採できそうなものに絞って作業を行いました。道具は、会で購入した電動チェーンソーを使用しました。エンジンのものと比べると、スイッチをONにするだけで、(トリガーに安全装置はありますが)気軽に始動できるので作業が楽に感じます。一方、この事が気の緩みにならないよう心がけました。そして、作業中もエンジン式より音が静かなので、いつも以上に周囲の人が気づかずに近くを通ったりしないかにも気を配りました。

島内のナラ枯れ被害木は、伐採が進んで数が減ってきてはいますが、まだ太いものや作業が難しそうなものもあるので、引き続き安全に気をつけて作業していきます。(成沢)



伐採作業中の成沢さん



伐採作業中の片野さん



伐採前に腐朽状況の確認

○森林整備作業に参加して

過去の調査で危険木と判定してテープ巻きされているコナラ(ナラ枯れによる枯死木)を中心に、伐採作業を行いました。初心者の方には、コナラなど広葉樹は木の重心がどこにあるのかの見極めがとても難しく思います。成沢さんは、木の形、周囲の状況、木をたたいて腐朽状況を確認するなど、総合的な判断をされながら効率的に作業を進めていきました。作業の中で、幹が途中で折れたり、腐朽していて「ツル」が効かなかったりなど、伐採にはかなりの危険を伴うことも実感しました。私もチェーンソーで伐採させてもらいましたが、知識と経験を積み重ねていく必要を感じました。

昼食時には、「菌」という漢字の成り立ち、「つるはし」「かものはし」の違い、「コナラ・クヌギ」、「シラカシ・クスノキ」など樹種の寿命による森林づくりの考え方、木を更新していく大切さなど、興味深い話が続き、楽しい時間を過ごせました。(片野)



伐採作業中の成沢さんと片野さん



アカヤマドリを発見した片野さん



昼食時はいろいろな話が飛び出します

○ベニイグチが大豊作

個人的には、ベニイグチこそ豊英島で見られるキノコの中で屈指の美人だと思います。ここ数年の活動日では憧れの美人にお目に掛かれず寂しく思っていたところでした。発生していても活動日とのタイミングがずれていたのかもしれませんが。今回はホテイ岬方面で大発生していましたので、このチャンスを逃すまいと写真を撮りまわりました。来月の観察会ではキノコの顔ぶれが代わると思いますが、今度はサクラシメジ、ウラベニホテイシメジ大発生を期待しています。(坂本)



ホテイ岬で大発生したベニイグチ



管孔は明るい黄色



傘の紅色が映えます

○和らいだ日差しの中で

つり橋を渡り始め、橋の中央付近であたりを見まわすと、橋の起点東側のモミの木の頂に大きな球果がたくさん着いていました。島の着岸点付近には、強い日差しによる葉焼けなのか紅葉の始まりなのか、黄褐色、赤褐色の葉が気持ちのいい日差しの中で揺らいでいました。ことのほか厳しかった暑い夏も、実りの秋に一步近づいたようです。

前回、出来て間もないキイロスズメバチの巣を長い柄の鎌で落としました。基の部分の枝に残ったままとなり、2、3匹のハチがそのあたりに留まっていて退治はできていないと思っていました。今回、恐る恐る状態を確認に行ったところ効果があったようです。巣の残骸部分に変化はなく、ハチの巣は出来ていませんでした。巣の修繕をあきらめたようです。安心しました。

コナラ伐採地は白色の花があちらこちらで咲き乱れていました。オトコエシとシラヤマギクです。ナガバノコウヤボウキ、ヤマハギも彩を添えていました。ナツアカネが程よい日差しの中じっとしていました。キハギについては生存競争に負けたようで、樹名板のみとなっていました。樹名板がさみしく思え、禁断の岬に咲いているキハギに付け替えることにしました。禁断の岬のキハギは細尾根の頂点部にあり、南側斜面の日当たり抜群のところでした。北側は暗く、深く切れ落ちた崖となっています。樹名板を取り付ける支柱を地面に刺したところ、突き抜けてオーバーハングになっているのがわかりました。細尾根は年々細く痩せて、より危険な禁断の岬となってきたようです。期待していたキッコウハグマの蕾はまだ成長途中です。だいぶ太ってきました。オケラは蕾の中に白いものが見えるようになってきました。どちらも植物図鑑によると9月から10月が開花期です。来月は花が見られるかもしれません。(秋元)



モミの球果



オトコエシ



シラヤマギク



ナガバノコウヤボウキ



ヤマハギ



ナツアカネ



キッコウハグマのつぼみ (左 8 月、右 9 月)



オケラのつぼみ

○ツチアケビを食べた犯人

前回、千年広場近くでたわわになったツチアケビの実が、8月の活動日にはほとんどなくなっていたことで、その原因は、鳥なのか、動物なのか、人間なのか、それともツチアケビの生理的なものなのかといろいろ推理しました。原因を明らかにするため、ヒメコマツ植栽地の柵内に1本残っていたツチアケビにセンサーカメラを設置したところ、犯人を特定する決定的な写真が撮れました！ 犯人は… キョン！お前だ！



センサーカメラを設置したチアケビ



ツチアケビの実を咥えるオスのキョン



ほとんどなくなった実をかじるメスのキョン

○9月のきのこ



ベニイグチ



ナラタケモドキ



キイロイグチ



広義のキクバナイグチ



アカヤマドリ



セイタカイグチ



コテングタケモドキ



コガネイグチ？

○センサーカメラの動物たち

7月21日から8月17日までの28日間の記録

いつも記録が多いCAM1は、キョンが28日のうち20日記録があり、最大頭数は3頭でした。ほかには、ハクビシンが10日（最大頭数1頭）、アナグマが7日（最大頭数2頭）、ニホンザルが4日（最大頭数10頭、群れで島に訪れる）、タヌキが2日（最大頭数2頭）の記録がありました。

CAM2は、ハクビシンが9日（最大頭数2頭）、キョンが8日（最大頭数2頭）、トビ1日（1羽）の記録がありました。

CAM3は、ハクビシンが2日（最大頭数1頭）、キョンが1日（最大頭数2頭）、アナグマ1日（最大頭数1頭）、ニホンザル1日（最大頭数4頭）の記録がありました。（福島）

- ・ 設置期間：7月21日～8月17日（28日間）
- ・ 設置場所：CAM1(つり橋着岸点付近)、CAM2(ホテイ岬への分岐点付近)、CAM3(ホテイ岬中央付近)
- ・ 日数は記録された日数で、同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1 キョン20日、ハクビシン10日、アナグマ7日、ニホンザル4日、タヌキ2日

CAM2 ハクビシン9日、キョン8日

CAM3 ハクビシン2日、キョン1日、アナグマ1日、ニホンザル1日

お知らせ

○次回の定例活動は 10 月 25 日（土）、公開行事として秋のきのこ観察会を行います。

吹春先生と中島先生をお招きし、恒例の秋のきのこ観察会を開催します。

スタッフが必要ですので会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。

集合場所は、県民の森管理事務所下の駐車場、会員の集合時間は 9：30 です。

熱中症対策、ヤマビル、ダニ対策を忘れずに、また、安全のためヘルメットの着用をお願いします。

秋のきのこ観察会参加者募集中！

詳しくは、ちば千年の森をつくる会で検索してください

